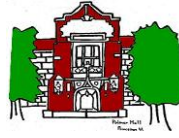


# ななかま

## プリントン日本語学校新聞



平成24年度 No.20号

平成24年10月7日

文責 長尾重範

### 後期授業の始まりです。

白菊の 目に立ててみる 塵もなし 芭蕉  
この道や 行く人なしに 秋の暮れ 芭蕉



### 新任御挨拶

中1担任 笠原朋子

ビーチ和恵先生の後任として後期より中1クラスを担当させていただきます笠原朋子です。日本を離れるまでの11年間を、埼玉県の小学校、中学校、特別支援学校にて、子どもたちと共に過ごしてきました。ここプリントン日本語学校で懐かしい場所に戻れましたことを、とても嬉しく感じています。生徒たちを広い展望で暖かく見守るビーチ先生の眼差しをそのまましっかりと引き継ぎますよう、一歩ずつがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

中2担任 中島弘美

後期より河嶋先生に代わりまして中学部2学年の担任をさせていただきます中島弘美と申します。生徒のみなさんの明るさと学ぶ姿勢、保護者のご理解やご協力、そして先生方の熱心さ... そういったこの学校で代々培われてきた、とても大切に素敵なことを心に刻み、私もみなさまの中に溶け込んでいけたらと思っています。初めての担任ということで不安もありますが、一生懸命生徒たちと向かい合っていきます。どうぞよろしくをお願いします。

### 行事予定表

10月14日21日 参観日(懇談日)  
10月28日 漢字検定  
11月4日 新1年生募集説明会 秋祭り  
11月11日18日 表現学習発表会  
12月9日 学芸会・学習発表会  
12月16日 冬休み前最終日

### 一芸を磨く

この頃の採用試験では、一芸に秀でている人、陰日向なく頑張れる人、自分で判断し行動できる人、周りの人と協力して働ける人、などが高い評価を受けるようです。

一芸に秀でるには、人知れず努力が必要です。

### 日本の学校(2)「よい先生の作り方」

過日の教員研修の中で、先生たちが挙げたよい先生の条件の一部を次に列記してみます。

生徒の立場を理解している。自分の価値を生徒に押し付けない。学習者中心であることを忘れない。公平である。生徒の話をよく聴く。子どもの目線で話す。分かりやすい授業。信頼される。元気で活気がある。話しやすい。ほめ上手。子どもの才能を伸ばす。保護者とのコミュニケーションをとる。やる気を起こさせる。・・・などでした。因みに私が昔読んだ本では、生徒に人気のない先生の条件は「不潔」「時間を守らない」「ひいきする」などでした(数十年前の話)。

生徒からも親からもしっかり注目を集める先生というのはなかなか大変な仕事だと思います。親同士では「今年の担任ははずれだね」「評判のよい先生に受け持ってもらってよかったわ」などと言ったりします。よい先生とはどんな条件を備えた人なのでしょう。私の経験上での印象は、万人向きの先生などというのは存在なくて、要するにわが子を大事にしてくれてよい成績をくれる先生はよい先生ということになるのでしょうか。いくら周りの人があの先生は素晴らしいといっても、わが子にとってよくなければ意味がないわけですから、所詮主観的な評価であるということに落ち着くのでしょうか。

先生の方は自分の信念で教育しているわけで、人気を得るために先生をしているわけではないと思います。ましてお金だけのために働いているなどと思っている方はいないはず(しかしまれにそのような先生がいました)。その先生が、どのような教育方針をもって臨まれているのか、わが子に生きる自信を持たせてくれるのか、きちんと学力をつけてくれるのか、など気がかりです。高学年になると、先生の深い教養に感銘して学問の道に目覚めるようなことが起こります。その時には、よい先生に巡り合ったと喜ぶべきでしょう。

しかし一般的には、子どもたちにとって、または保護者にとっての期待は自分またはわが子の望ましい成長にあります。そうであるならば、先生の品定めをするよりは、わが子の成長のために、担任にさらによい先生になってもらうように、心を配るべきだと思います。たとえば学級づくりに協力したり、先生の取組みを積極的に評価しほめるなどが効果的です。逆に、先生のことを家で悪くいうとわが子も同じような目で見ることになり、返って子どもの成績も伸びない結果になる傾向があります。